

安倍政権は、世論の声を無視して、集団的自衛権行使を容認する閣議決定を7月1日に強行しました。その一方で、実際に閣議決定を運用するうえで必要な法整備の国会提出は、この秋には見送ることにしました。けれども、年内に予定される日米防衛協力のための指針(ガイドライン)の見直しには、法整備を先取りするかたちで閣議決定が反映されることは明らかで、その中間報告が9月中にもまとめられる予定です。

あらためて7月1日の閣議決定が何を決め、今後何をもちよらすのかを考える学習会を企画しました。多くの方のご参加をおまちします。

九条の会事務局主催学習会

『集団的自衛権』と日米ガイドライン

2014年10月10日(金)18:30~21:00

報告 1

「集団的自衛権容認論の過去・現在・未来」

浦田一郎さん (うらた・いちろう 明治大学教授・憲法学)

1946年生まれ。一橋大学法学部卒業、同大学大学院博士課程中退

『自衛力論の論理と歴史』(日本評論社)、『政府の憲法九条解釈』(信山社出版) など

報告 2

「日米核同盟の真相をえぐる」

太田昌克さん (おおた・まさかつ 共同通信編集委員)

1968年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。政策研究大学院大学博士課程修了

2006年度ボーン・上田記念国際記者賞、09年平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞

『秘録―核スクープの裏側』(講談社)、『日米核同盟』(岩波書店) など

会場：在日本韓国YMCA スペース Y (地下ホール)

(東京都千代田区猿楽町 2-5-5)

JR 水道橋駅下車、東口より徒歩 10 分

参加費：1000 円(当日会場にてお支払いください)

要予約：メールか Fax で、お名前と電話 Fax 番号を事務局へご連絡ください。

メール mail@9jounokai.jp

Fax 03-3221-5076

主催：九条の会事務局

東京都千代田区西神田 2-5-7-303

Tel 03-3221-5075

